

学 年

4 年

わる数が2けたのわり算①

年 組 名前

- ① ビー玉が98こあります。1人に31こずつ分けると、何人に分けられて、何こありますか。

①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を とみます。

見当をつけた商は →

③筆算をしましょう。

商は、何の位にたちますか。 → の位

答え. _____

④答えのたしかめをしましょう。

言葉を入れてみましょう

	×		+		=	わられる数
--	---	--	---	--	---	-------

数を入れてみましょう。

	×		+		=	98
--	---	--	---	--	---	----

学 年
4 年

わる数が2けたのわり算①

① ビー玉が98こあります。1人に31こずつ分けると、何人に分けられて、何こありますか。

①式をたてましょう。

98 ÷ 31

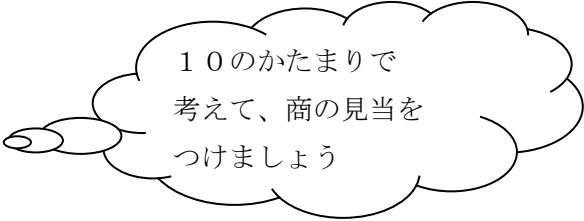
(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を 30 とみます。

見当をつけた商は → 3



③筆算をしましょう。

商は、何の位にたちますか。 → 一の位

3 1) 9 8
9 3

5

答え. 3人に分けられて 5こあまる

④答えのたしかめをしましょう。

言葉を入れてみましょう

わる数 × 商 + あまり = わられる数

数を入れてみましょう。

31 × 3 + 5 = 98

学 年
4 年

わる数が2けたのわり算②

年 組 名 前 _____

① 色紙が63枚あります。23人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりですか。

①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

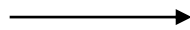
見当をつけるためには

わる数を とみます。

見当をつけた商は →

③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。

うまくいきま
したか。



商をどのよう
にかえればい
いですか。

④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

答え.

学 年

4 年

わる数が2けたのわり算②

- ① 色紙が63枚あります。23人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりますか。

①式をたてましょう。

$$63 \div 23$$

(商は、求めなくてもよいです)

- ②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を **20** とみます。

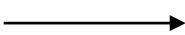
見当をつけた商は →

3

- ③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。

$$\begin{array}{r} 23 \overline{) 63} \\ \underline{69} \end{array}$$

うまくいきま
したか。



商をどのよう
にかえればい
いですか。

$$\begin{array}{r} 23 \overline{) 63} \\ \underline{46} \\ 17 \end{array}$$

- ④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

$$63 \div 23 = 2 \text{あまり} 17$$

答え. 1人分は2枚で 17枚あまる

学 年
4 年

わる数が2けたのわり算③

年 組 名前

① クッキーが98枚あります。18人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりありますか。

①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を とみます。

見当をつけた商は →

③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。



うまく計算できましたか。正しく計算
できたかどうかは、どこを見て、考えましたか。

商をどう変えますか



④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

答え.

学 年

4年

わる数が2けたのわり算③

① クッキーが98枚あります。18人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりますか。

①式をたてましょう。

$$98 \div 18$$

(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を **20** とみます。

見当をつけた商は → **4**

③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 18 \overline{)98} \\ \underline{72} \\ 26 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \\ 18 \overline{)98} \\ \underline{90} \\ 8 \end{array}$$

うまく計算できましたか。正しく計算できたかどうかは、どこを見て、考えましたか。

商をどう変えますか

あまりの26が わる数より 大きいこと

1 大きくする

④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

$$98 \div 18 = 5 \text{あまり} 8$$

答え. 1人分は5枚で、8枚あまる

学 年 4 年	わる数が2けたのわり算④
------------	--------------

- ① どんぐりをたくさんひろいました。
 全部で、893個ありました。これを学級のみんな28人で分けます。
 1人分は何個になって、何個あまりますか。

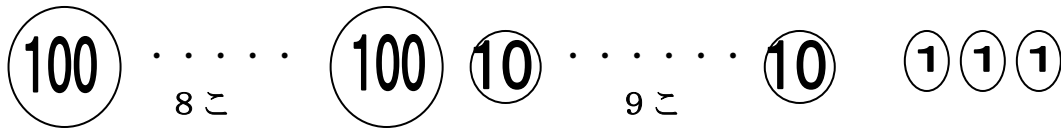
①式をたてましょう。

$$893 \div 28$$

(商は、求めなくてもよいです)

- ② 893個のどんぐりを 100個入りの袋と、10個入りの袋に分けてみましょう。
 図の続きをかいてみましょう。

893個は・・・

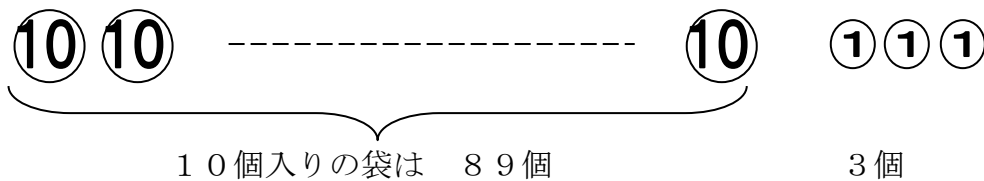


100個入りの袋は 8 個です。
 100個入りの袋は、28人に配れますか。

配れない

- ③ 100個入りの袋をばらして、10個入りの袋にかえてみましょう。
 図の続きをかいてみましょう。

893個は・・・



10個入りの袋を28人に分ける
 これを式に表すと

$$89 \div 28 = 3 \text{ あたり } 5$$

残った10個入りの袋をばらして、残りの3個と
 合わせて28人に分ける
 これを式に表すと

$$53 \div 28 = 1 \text{ あたり } 25$$

筆算をしてみましょう

$$\begin{array}{r}
 3 \ 1 \\
 2 \ 8 \overline{) 8 \ 9 \ 3} \\
 \underline{8 \ 4} \\
 5 \ 3 \\
 \underline{2 \ 8} \\
 2 \ 5
 \end{array}$$

学 年
4 年

わる数が2けたのわり算⑤

年 組 名 前 _____

① おこづかいが2700円あります。300円ずつ分けると、何人に分けられますか。

式をたてましょう

$$\boxed{} \text{ (円)} \div \boxed{} \text{ (円)} = \boxed{} \text{ (人)}$$

② 100円玉を使って、100円玉の枚数で分けて考えると・・・

問題

おこづかいが2700円（100円玉が 枚）あります。

300円ずつ（100円玉が 枚ずつ）分けると、何人に分けられますか。

$$\boxed{} \text{ (枚)} \div \boxed{} \text{ (枚)} = \boxed{} \text{ (人)}$$

①と②の式をくらべてみましょう

① $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

② $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

2つの式をくらべて、わかったことを 言葉でまとめましょう。

解答

【小学校算数・ワークブック】

学 年

4年

わる数が2けたのわり算⑤

- ① おこづかいが2700円あります。300円ずつ分けると、何人に分けられますか。

式をたてましょう

$$\begin{array}{|c|} \hline 2700 \\ \hline \end{array} \text{ (円)} \div \begin{array}{|c|} \hline 300 \\ \hline \end{array} \text{ (円)} = \begin{array}{|c|} \hline 9 \\ \hline \end{array} \text{ (人)}$$

- ② 100円玉を使って、100円玉の枚数で分けて考えると・・・

問題

おこづかいが2700円（100円玉が 27枚）あります。

300円ずつ（100円玉が 3枚ずつ）分けると、何人に分けられますか。

$$\begin{array}{|c|} \hline 27 \\ \hline \end{array} \text{ (枚)} \div \begin{array}{|c|} \hline 3 \\ \hline \end{array} \text{ (枚)} = \begin{array}{|c|} \hline 9 \\ \hline \end{array} \text{ (人)}$$

- ①と②の式をくらべてみましょう

①
$$\begin{array}{|c|} \hline 2700 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline 300 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 9 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{|c|} \hline 27 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline 3 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 9 \\ \hline \end{array}$$

2つの式をくらべて、わかったことを 言葉でまとめましょう。

(例)

2700÷300も、27÷3も、商は同じ

わる数と わられる数を 同じ数（100）で わっても 商はかわらない。